


# まほろば秦野通信

平成27年1月7日

タイトル	<b>子供たちが無病息災・家内安全を祈り家々を回る 地域の伝統行事「あくまっぱらい」</b>	
When (いつ)	◇北地区・横野 1月10日(土曜日) 午前8時半集合 加羅古神社(横野608)	
Where (どこで)	◇西地区・堀西 1月11日(日曜日) 午前9時半集合 天津神社(堀西769)	
	◇上地区・菖蒲 1月13日(火曜日) 午後4時集合 道祖神のそば(菖蒲997)	
Who (だれが)	江戸時代から続く小正月の 伝統行事「あくまっぱらい」を 各地域で開催します。 <b>【北地区・横野】</b> 地区の小学5年～中学生が、 最年長の大將を中心に、獅子頭 をかぶり、太鼓を鳴らしながら 「舞い込め」の掛け声とともに	
What (なにを)	に、横野地区の約200軒の家のお払いをして回ります。一時途絶えていた時期がありましたが、昭和40年代に子供会が再開しました。	
How (どのように)	<b>【西地区・堀西】</b> 波多川子供会の幼稚園児～中学生が、獅子頭を持ち、波多川地区の約200軒の家の玄関先などを回り「あくまっぱらい」と大声で唱えます。 <b>【上地区・菖蒲】</b> 下東地区の小・中学生の男子が、最年長の大將を中心に、獅子頭や御幣を持ち、ひよっとこの仮面をかぶって、菖蒲地区の約150軒の家の玄関先などで「あくまっぱらい」と大声で唱え、手作りの札を配ります。	
Why (なぜ)	「あくまっぱらい」とは、いくつかの地区に伝えられている道祖神祭りの別名の一種で、無病息災、家内安全を祈る行事です。	
問い合わせ	生涯学習課文化財班 担当：丸橋 電話 0463 (87) 9581	